

教育職員免許状取得に関する手引き
2025年度（令和7年度）入学者適用

弘前大学人文社会科学部

令和7年4月改訂版

は じ め に 【 重 要 】

本学卒業後に、中学校・高等学校等の教員として就職を希望する者は、教育職員免許状を有することが必要になります。

教育職員免許状の取得を希望する者は、取得を希望する免許状の種類及び教科に応じて教育職員免許法で定められている各教科毎の単位を修得することが必要になります。

本学部において取得できる免許状の種類及び教科は、別表第1に示しています。免許状取得のための条件である所要資格については、別表第2に示しているとおりの基礎資格と所定の最低修得単位数を取得することが必要になります。

各教科毎の単位の具体的修得方法は、別表第3から10に記載しています。

なお、教育職員免許状取得のための科目の中には、本学部の卒業所要単位の中に含まれない科目があるので注意してください。

他学部で開講される科目を受講する場合は、その学部の開講学期、時限及び履修年次等を確認し履修の手続きをしてください。

教職科目の中で人文社会科学部開講科目については、原則として人文社会科学部開講の科目を受講してください。必修科目等が同じ授業時間帯と重なり、本学部開講の科目を受講できない場合は、他学部(理工学部、農学生命科学部)で開講する科目を受講することができますが、教育学部開講の科目は受講できないので、注意してください。

以下の科目は、教育学部開講の科目を受講できません。

- ・教育原理
- ・教職入門
- ・教育の社会制度論
- ・発達心理学
- ・特別な教育的ニーズの理解とその支援
- ・教育課程論
- ・道徳の歴史と方法
- ・特別活動及び総合的な学習の時間の指導法
- ・教育方法・情報通信技術活用論
- ・生徒指導・進路指導の理論と方法
- ・教育相談の理論と方法
- ・教職実践演習

目 次

1.	取得できる免許状の種類及び教科(別表第1)	1
2.	免許状取得のための所要資格(別表第2)	1
3.	教養教育科目	1
4.	専門教育科目	1
5.	教科及び教育の指導法に関する科目 中学校教諭一種免許状「国語」	2
6.	教科及び教育の指導法に関する科目 高等学校教諭一種免許状「国語」	3
7.	教科及び教育の指導法に関する科目 中学校教諭一種免許状「社会」文化創生課程	4
8.	教科及び教育の指導法に関する科目 中学校教諭一種免許状「社会」社会経営課程	5
9.	教科及び教育の指導法に関する科目 高等学校教諭一種免許状「地理歴史」	6
10.	教科及び教育の指導法に関する科目 高等学校教諭一種免許状「公民」	7
11.	教科及び教育の指導法に関する科目 高等学校教諭一種免許状「商業」	8
12.	教科及び教育の指導法に関する科目 中学校教諭一種免許状「英語」	9
13.	教科及び教育の指導法に関する科目 高等学校教諭一種免許状「英語」	10
14.	教育の基礎的理解に関する科目 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 教育実践に関する科目(別表第10)	11
15.	教育実習の履修方法	12
16.	介護等体験実習の履修方法	13

1. 取得できる免許状の種類及び教科（別表第1）

人文社会科学部の各課程において、取得できる教育職員免許状の種類及び教科は、次表のとおりです。

課 程	種 類 （教 科）
文 化 創 生 課 程	中学校教諭一種免許状 （国語，英語，社会） 高等学校教諭一種免許状（国語，英語，地理歴史）
社 会 経 営 課 程	中学校教諭一種免許状 （社会） 高等学校教諭一種免許状（公民，商業）

備考 免許法で定められている各教科の必要単位数を修得すれば、別表第1に示す課程の教科以外の免許状も取得することができます。

例えば、文化創生課程の学生が、「公民」の免許状を取得することも可能であり、社会経営課程の学生が、「国語」の免許状を取得することも可能です。

ただし、選択するコースによっては、時間割上、支障が出る場合があります。

2. 免許状取得のための所要資格（別表第2） ※免許状取得のための基礎資格及び教職科目の必要単位数

所要資格 免許状の種類	基礎資格	教科及び教職に関する科目（人文社会科学部における最低修得単位数）					
		1. 教科及び教科の指導法に関する科目	2. 教育の基礎的理解に関する科目	3. 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	4. 教育実践に関する科目	5. 大学が独自に設定する科目	合 計
中学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること	2 8	1 1	1 0	7	3	5 9
高等学校教諭一種免許状	同 上	2 4	1 1	8	5	1 1	5 9

※ 5. 大学が独自に設定する科目は、本学部では開講科目はなく、「1. 教科及び教科の指導法に関する科目」「2. 教育の基礎的理解に関する科目」「3. 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目の科目」「4. 教育実践に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位を充てることになります。

※ 本学部において、2. 教育の基礎的理解に関する科目 の最低修得単位数は11になります。

※ 本学部において、5. 大学が独自に設定する科目 の最低修得単位数は中一種が3，高一種は11になります。

3. 教 養 教 育 科 目

教養教育科目の次の4科目は、すべての免許状の必修科目です。

- ・「法と社会B」2単位必修
- ・「運動と健康B」2単位必修
- ・「English Communication A・English Communication B」これら2科目より1科目選択必修
- ・「データサイエンス基礎」2単位必修

4. 専 門 教 育 科 目

専門科目は

1. 教科及び教科の指導法に関する科目
（教科に関する専門的事項，各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。））
2. 教育の基礎的理解に関する科目
3. 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目
4. 教職実践に関する科目

に区分され、それぞれについて詳しい授業内容や最低修得単位数が定められています。

5. 教科及び教科の指導法に関する科目（別表第3）

中学校教諭一種免許状「国語」

教科に関する 専門的事項	授 業 科 目	履修可能 単 位 数	必修取得 単 位 数	備考および修得方法
国語学 （音声言語及び文章表現 に関するものを含む。）	○日本語学 ○日本語学演習Ⅰ 日本語学演習Ⅱ	2 2 2	4	・科目名の前に「○」がある科目は「必修科目」となります。 必修科目のうち、書道Ⅰは<u>中一種のみ必修科目</u>です。 ・修得すべき単位数については、下記「☆」印の部分 を参考にしてください。
国文学 （国文学史を含む。）	○日本古典文学 ○日本近現代文学 ○文学と文化 ○民俗学 ○日本古典文学演習Ⅰ 日本古典文学演習Ⅱ ○日本近現代文学演習Ⅰ 日本近現代文学演習Ⅱ	2 2 2 2 2 2 2 2	12	
漢文学	○東アジア文学演習Ⅰ 東アジア文学演習Ⅱ ○東アジア文化と文学 東アジア文学論	2 2 2 2	4	
書道 （書写を中心とする。）	○書道Ⅰ	2	2	
各教科の指導法（情報通 信技術の活用含む。）	○国語科教育法 ○国語科授業論 ○国語科教材論 ○国語科教育方法論	2 2 2 2	8	
合 計			30単位	←この他、さらに1単位以上を修得して「大学が独自に設定する科目」の単位数に充てる必要がある ので注意してください。

☆中学校の免許状取得を目指す場合、別表第10の必修科目の他に、上記科目のうち、全ての必修科目を含む31単位以上の単位修得が必要です。必修の単位数のみですと不足しますので注意してください。

6. 教科及び教科の指導法に関する科目（別表第3）

高等学校教諭一種免許状「国語」

教科に関する 専門的事項	授 業 科 目	履修可能 単 位 数	必修取得 単 位 数	備考および修得方法
国語学 （音声言語及び文章表現 に関するものを含む。）	○日本語学 ○日本語学演習Ⅰ 日本語学演習Ⅱ	2 2 2	4	・科目名の前に「○」がある科目は「必修科目」となります。 ・書道Ⅰは中一種「国語」のみの必修科目です。書道Ⅰの単位は高一種「国語」ではカウントされないので注意してください。 ・修得すべき単位数については、下記「☆」印の部分をご参考になさってください。
国文学 （国文学史を含む。）	○日本古典文学 ○日本近現代文学 ○文学と文化 ○民俗学 ○日本古典文学演習Ⅰ 日本古典文学演習Ⅱ ○日本近現代文学演習Ⅰ 日本近現代文学演習Ⅱ	2 2 2 2 2 2 2 2	12	
漢文学	○東アジア文学演習Ⅰ 東アジア文学演習Ⅱ ○東アジア文化と文学 東アジア文学論	2 2 2 2	4	
各教科の指導法（情報通 信技術の活用含む。）	○国語科教育法 ○国語科授業論 国語科教材論 国語科教育方法論	2 2 2 2	4	
合 計			24単位 以上	

☆高等学校の免許状のみ取得を目指す場合、別表第10の必修科目の他に、上記科目のうち、全ての必修科目を含む35単位以上の修得が必要です。必修の単位数のみですと不足しますので注意してください。

〔「道徳の歴史と方法」について〕

「道徳の歴史と方法」の単位は、高一種免許状では「大学が独自に設定する科目」の単位数に充てることができる。

7. 教科及び教科の指導法に関する科目（別表第4）

中学校教諭一種免許状「社会」 文化創生課程

教科に関する 専門的事項	授 業 科 目	履修可能 単 位 数	必修取得 単 位 数	備考および修得方法
日本史及び外国史	○日本史 ○中国史 ○西洋史 ○ユーラシア史 民俗と文化 文化財論 日本考古学 西洋考古学	2 2 2 2 2 2 2 2	8	・科目名の前に「○」がある科目は「必修科目」となります。 ・科目名の前に「●」がある「地誌A」および「地誌B」は選択必修科目です。どちらか一方は必ず単位を修得する必要があります。
地理学（地誌を含む。）	○人文地理A ○人文地理B ○自然地理A ○自然地理B ●地誌A ●地誌B	2 2 2 2 2 2	10	
「法律学，政治学」	○公法学 ○私法学 行政学 憲法 民法	2 2 2 2 2	4	
「社会学，経済学」	○社会学 ○ミクロ経済学Ⅰ ミクロ経済学Ⅱ ○マクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅱ 社会心理学	2 2 2 2 2 2	6	
「哲学，倫理学，宗 教学」	○思想と文化 ○日本倫理思想 西洋倫理思想 東アジア思想 日本倫理思想演習Ⅰ 日本倫理思想演習Ⅱ	2 2 2 2 2 2	4	
各教科の指導法（情報通 信技術の活用含む。）	○社会科教育法 ○社会科授業論 ○中等社会・地理歴史科 授業構成論 ○中等社会・公民科授業 構成論	2 2 2 2	8	
合 計			40単位	

※必修科目を含み28単位以上を修得してください。ただし、必修科目のみ修得の場合でも40単位修得となり、別表第10の必修科目を含む所要単位数59単位以上を修得できるような設定になっています。

8. 教科及び教科の指導法に関する科目（別表第5）

中学校教諭一種免許状「社会」

社会経営課程

教科に関する 専門的事項	授 業 科 目	履修可能 単 位 数	必修取得 単 位 数	備考および修得方法
日本史及び外国史	○日本史 ○中国史 ○西洋史 ○ユーラシア史 民俗と文化 文化財論 日本考古学 西洋考古学	2 2 2 2 2 2 2 2	8	・科目名の前に「○」がある科目は「必修科目」となります。 ・科目名の前に「●」がある「地域地理学A」および「地域地理学B」は選択必修科目です。どちらか一方は必ず単位を修得する必要があります。
地理学（地誌を含む。）	○基礎地理学A ○基礎地理学B ○環境地理学A ○環境地理学B ●地域地理学A ●地域地理学B	2 2 2 2 2 2	10	
「法律学，政治学」	○公法学 ○私法学 行政学 憲法 民法	2 2 2 2 2	4	
「社会学，経済学」	○社会学 ○ミクロ経済学Ⅰ ミクロ経済学Ⅱ ○マクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅱ 社会心理学	2 2 2 2 2 2	6	
「哲学，倫理学，宗 教学」	○思想と文化 ○日本倫理思想 西洋倫理思想 東アジア思想 日本倫理思想演習Ⅰ 日本倫理思想演習Ⅱ	2 2 2 2 2 2	4	
各教科の指導法（情報通 信技術の活用含む。）	○社会科教育法 ○社会科授業論 ○中等社会・地理歴史科 授業構成論 ○中等社会・公民科授業 構成論	2 2 2 2	8	
合 計			40	

※必修科目を含み28単位以上を修得してください。ただし、必修科目のみ修得の場合でも40単位修得となり、別表第10の必修科目を含む所要単位数59単位以上を修得できるような設定になっています。

9. 教科及び教科の指導法に関する科目（別表第6）

高等学校教諭一種免許状「地理歴史」

教科に関する 専門的事項	授 業 科 目	履修可能 単 位 数	必修取得 単 位 数	備考および修得方法
日本史	○日本史 ○日本考古学 ○文化財論 民俗と文化	2 2 2 2	6	・科目名の前に「○」がある科目は「必修科目」となります。 ・科目名の前に「●」がある「地誌A」および「地誌B」は選択必修科目です。どちらか一方は必ず単位を修得する必要があります。
外国史	○中国史 ○西洋史 ○ユーラシア史 ○西洋考古学	2 2 2 2	8	・以下の科目は教育学部開講科目です。 ・自然地理学基礎演習 ・地理学巡検Ⅰ ・地理学巡検Ⅱ
人文地理学及び自然地理学	○人文地理A ○人文地理B ○自然地理A ○自然地理B 自然地理学基礎演習 地理学巡検Ⅰ 地理学巡検Ⅱ	2 2 2 2 2 1 1	8	・社会経営課程の学生は、以下の科目を次のとおり読み替える。 「基礎地理学A」を「人文地理A」に読み替える。 「基礎地理学B」を「人文地理B」に読み替える。 「環境地理学A」を「自然地理A」に読み替える。 「環境地理学B」を「自然地理B」に読み替える。 「地域地理学A」を「地誌A」に読み替える。 「地域地理学B」を「地誌B」に読み替える。
地誌	●地誌A ●地誌B	2 2	2	
各教科の指導法（情報通信技術の活用含む。）	○地理歴史科教育法 ○中等社会・地理歴史科授業構成論 社会科教育法 社会科授業論	2 2 2 2	4	・修得すべき単位数については、下記「☆」印の部分を参考にしてください。
合 計			28単位	←この他、さらに7単位以上を修得して「大学が独自に設定する科目」の単位数に充てる必要がありますので注意してください。

☆高等学校の「地理歴史」の免許状のみ取得を目指す場合、別表第10の必修科目の必修科目の単位修得の他に、上記科目のうち、全ての必修科目を含む35単位以上の修得が必要です。**必修の単位数のみですと不足しますので注意してください。**

☆中学校「社会」免許状取得を同時に目指す場合、別表第10の必修科目の必修科目の単位修得の他に、上記科目のうち、全ての必修科目を含む27単位以上の単位修得が必要です。

（社会の必修科目を修得している（地誌はどちらか一方のみを修得していると仮定した）場合、24単位修得済みとなります。他に必要な地歴の必修単位を合わせると32単位となりますので、別表第10の科目と合計すると59単位の必要単位を満たすことができます。）

〔「道徳の歴史と方法」について〕

「道徳の歴史と方法」の単位は、高一種免許状では「大学が独自に設定する科目」の単位数に充てることができます。

10. 教科及び教科の指導法に関する科目（別表第7）

高等学校教諭一種免許状「公民」

教科に関する 専門的事項	授 業 科 目	履修可能 単 位 数	必修取得 単 位 数	備考および修得方法
「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	○公法学 ○私法学 ○憲法 行政学 民法	2 2 2 2 2	6	・科目名の前に「○」がある科目は「必修科目」となります。 ・科目名の前に「●」がある「西洋倫理思想」、および「東アジア思想」は選択必修科目です。どちらか一方は必ず単位を修得する必要があります。 ・修得すべき単位数については、下記「☆」印の部分をご参考ください。
「社会学，経済学（国際経済学を含む。）」	○社会学 ○ミクロ経済学Ⅰ ミクロ経済学Ⅱ ○マクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅱ 社会心理学	2 2 2 2 2 2	6	
「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	○思想と文化 ○日本倫理思想 ○哲学倫理入門 ●西洋倫理思想 ●東アジア思想 日本倫理思想演習Ⅰ 日本倫理思想演習Ⅱ	2 2 2 2 2 2 2	8	
各教科の指導法（情報通信技術の活用含む。）」	○公民科教育法 ○中等社会・公民科授業構成論 社会科教育法 社会科授業論	2 2 2 2	4	
合 計			24単位	
				←この他、さらに11単位以上を修得して「大学が独自に設定する科目」の単位数に充てる必要がありますので注意してください。

☆高等学校の「公民」の免許状のみ取得を目指す場合、別表第10の必修科目の必修科目の単位修得の他に、上記科目のうち、全ての必修科目を含む35単位以上の修得が必要です。必修の単位数のみですと不足しますので注意してください。

☆中学校「社会」免許状取得を同時に目指す場合、別表第10の必修科目の必修科目の単位修得の他に、上記科目のうち、全ての必修科目を含む29単位以上の単位修得が必要です。

（社会の必修科目を修得している場合、20単位修得済みとなります。他に必要な公民の必修単位を合わせると28単位となるので、合計59単位にするためには、残り3単位以上単位を修得する必要があります。）

〔「道徳の歴史と方法」について〕

「道徳の歴史と方法」の単位は、高一種免許状では「大学が独自に設定する科目」の単位数に充てることができます。

高等学校教諭一種免許状「商業」

☆「商業」の免許状のみ取得を目指す場合、別表第10の必修科目の必修科目の単位修得の他に、上記科目のうち、全ての必修科目を含む35単位以上の修得が必要です。必修の単位数のみですと不足しますので注意してください。

「道徳の歴史と方法」の単位は、高一種免許状では「大学が独自に設定する科目」の単位数に充てることができる。

1 2. 教科及び教科の指導法に関する科目（別表第 9）

中学校教諭一種免許状「英 語」

教科に関する 専門的事項	授 業 科 目	履修可能 単 位 数	必修取得 単 位 数	備考および修得方法
英語学	○英語学 A 言語文化論	2 2	2	・科目名の前に「○」がある科目は「必修科目」となります。
英語文学	○英米文学 A ○英米文学 B ●文学基礎論 A ●文学基礎論 B	2 2 2 2	6	・科目名の前に「●」がある「文学基礎論 A」および「文学基礎論 B」は選択必修科目です。どちらか一方は必ず単位を修得する必要があります。
英語コミュニケーション	○グローバルコミュニケーション論 A グローバルコミュニケーション論 B ○英語コミュニケーション A ○英語コミュニケーション B ○英語コミュニケーション C ○英語コミュニケーション D 英語コミュニケーション E 英語コミュニケーション F	2 2 2 2 2 2 2 2	10	・各教科の指導法について受講の際には必ず「*1」「*2」の順番で受講してください。 ・修得すべき単位数については、下記「☆」印の部分をご参考になさってください。
異文化理解	○アメリカ・オセアニア地域学 A ○アメリカ・オセアニア地域学 B	2 2	4	
各教科の指導法（情報通信技術の活用含む。）	○英語科教育法 *1 ○英語科授業論 *2 ○英語科教材論 ○英語科教育方法論	2 2 2 2	8	
合 計			30 単位	←この他、さらに 1 単位以上を修得して「大学が独自に設定する科目」の単位数に充てる必要があるためご注意ください。

☆中学校の免許状取得を目指す場合、別表第 10 の必修科目の必修科目の単位修得の他に、上記科目のうち、全ての必修科目を含む 31 単位以上の単位修得が必要です。必修の単位数のみですと不足しますので注意してください。

（上記表の必修科目の総単位数は 30 単位（選択必修はどちらか一方を修得したと仮定）となります）

1 3. 教科及び教科の指導法に関する科目（別表第 9）

高等学校教諭一種免許状「英 語」

教科に関する 専門的事項	授 業 科 目	履修可能 単 位 数	必修取得 単 位 数	備考および修得方法
英語学	○英語学 A 言語文化論	2 2	2	・科目名の前に「○」がある科目は「必修科目」となります。
英語文学	○英米文学 A ○英米文学 B ●文学基礎論 A ●文学基礎論 B	2 2 2 2	6	・科目名の前に「●」がある「文学基礎論 A」および「文学基礎論 B」は選択必修科目です。どちらか一方は必ず単位を修得する必要があります。
英語コミュニケーション	○グローバルコミュニケーション論 A グローバルコミュニケーション論 B ○英語コミュニケーション A ○英語コミュニケーション B ○英語コミュニケーション C ○英語コミュニケーション D 英語コミュニケーション E 英語コミュニケーション F	2 2 2 2 2 2 2 2	10	・各教科の指導法については受講の際には必ず「*1」「*2」の順番で受講してください。 ・修得すべき単位数については、下記「☆」印の部分をご参考になさってください。
異文化理解	○アメリカ・オセアニア地域学 A ○アメリカ・オセアニア地域学 B	2 2	4	
各教科の指導法（情報通信技術の活用含む。）	○英語科教育法 *1 ○英語科授業論 *2 英語科教材論 英語科教育方法論	2 2 2 2	4	
合 計			26 単位	←この他、さらに 9 単位以上を修得して「大学が独自に設定する科目」の単位数に充てる必要がありますのでご注意ください。

☆高等学校の免許状のみ取得を目指す場合、別表第 10 の必修科目の必修科目の単位修得の他に、上記科目のうち、全ての必修科目を含む 35 単位以上の修得が必要です。必修の単位数のみですと不足しますのでご注意ください。

（上記表の必修科目の総単位数は 26 単位（選択必修はどちらか一方を修得したと仮定）となります）

☆中学校の免許状を同時に目指す場合、中学校の取得条件を満たしていれば単位は不足しません。

〔「道徳の歴史と方法」について〕

「道徳の歴史と方法」の単位は、高一種免許状では「大学が独自に設定する科目」の単位数に充てることができます。

1 4. 教育の基礎的理解に関する科目

道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目
教育実践に関する科目（別表第10）

施行規則に定める科目区分名		左に対応する本学部の授業科目	単位	年次別単位数			開講学部	免許状の種類		備考
				2年	3年	4年		中1	高1	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2	2			人文社会科学部	必修	必修	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職入門	2	2			人文社会科学部	必修	必修	集中講義
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育の社会制度論	2	2			人文社会科学部	必修	必修	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	発達心理学	2	2			人文社会科学部	必修	必修	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別な教育的ニーズの理解とその支援	1		1		人文社会科学部	必修	必修	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2		2		人文社会科学部	必修	必修	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳の歴史と方法	2		2		人文社会科学部	必修		中一種のみ必修
	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2	2			人文社会科学部	必修	必修	
	特別活動の指導法						人文社会科学部	必修	必修	
	教育の方法及び技術	教育方法・情報通信技術活用論	2		2		人文社会科学部	必修	必修	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法									
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導の理論と方法	2		2		人文社会科学部	必修	必修	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法									
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談の理論と方法	2	2			人文社会科学部	必修	必修	
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習Ⅰ	2			2		必修	必修	
		教育実習Ⅱ	2			2		必修		中一種のみ必修
		事前・事後指導	1			1		必修	必修	
	教職実践演習	教職実践演習	2			2	人文社会科学部	必修	必修	
		教職キャリア基礎演習	1		1			【注意】「教職キャリア基礎演習」「教職キャリア発展演習」の単位は教育職員免許状取得に必要な単位(P1、別表第2)に含まれません		
		教職キャリア発展演習	1			1				
	介護等体験実習	介護等体験実習			*			必修		* 3年次

* 中学校教員免許取得希望者は、介護等体験実習が必修になります。

15. 教育実習の履修方法

1. 免許状取得のための教育実習は4年次において履修しますが、3年次後期終了までに次の条件を必ず満たしておいてください。

3年次後期までに条件を満たしていない場合は、4年次に教育実習を履修することはできません。

- ① 教養教育科目の中から
「法と社会B」（2単位）
「運動と健康B」（2単位）
「English Communication A・English Communication Bから1科目」（2単位）
「データサイエンス基礎」（2単位）
を含め 34単位を修得してください。
- ② 「教育原理」（2単位）
「教職入門」（2単位）
「教育の社会制度論」（2単位）
「発達心理学」（2単位）
「特別活動及び総合的な学習の時間の指導法」（2単位）
「教育方法・情報通信技術活用論」（2単位）
「生徒指導・進路指導の理論と方法」（2単位）
「教育相談の理論と方法」（2単位）
「各教科の指導法（情報通信技術の活用含む。）」（実習をおこなう教科で2単位以上）
以上 9科目（18単位以上）を修得してください。
- ③ ②の単位と実習をおこなう教科の「教科に関する専門的事項」の単位を合わせて32単位以上を修得してください。
- ④ 3年次中に介護等体験実習を終了してください。（中学校一種の免許状取得希望者対象）

2. 教育実習希望届は、3年次前期（4～5月中）に提出してください。

実習生の希望により出身校での実習も認めています。出身校での実習を希望する学生は、それぞれの出身校に各自依頼してください。なお、出身校が進学校の高校の場合は、3年次の3月又は4月中に教育実習の受付を終了する場合があるので、事前に電話等で申し込んでください。

なお、教育実習費として諸経費（約3,000円）と謝金（1週間あたり3,000円、4週間で12,000円）を、4年次前期開始時に徴収します。

3. 「学生教育研究災害傷害保険」と「学生教育研究賠償責任保険」の両方、もしくは「学生総合共済（生命共済）」と「学生賠償責任保険」の両方の保険に加入してください。

4. 教育実習期間は、下記のとおりです。

- ・中学校教諭免許状のみ取得希望者・・・原則として、4年次4週間
- ・高等学校教諭免許状のみ取得希望者・・・原則として、4年次2週間
- ・中学校及び高等学校教諭免許状の取得希望者・・・原則として、4年次4週間

なお、教育実習は、原則として取得を希望する学校種（中学校免許であれば、中学校で）において履修することとなります。中学校免許と高校免許どちらも取得希望であれば中学校で履修になります。

5. 事前・事後指導については、教育実習の単位のうち1単位になります。

事前指導は、4年次の4月中旬に行われる「教育実習オリエンテーションの総括説明」と「教科別のオリエンテーション」に必ず出席してください。その他「普通救命講習」や「児童生徒性暴力等の防止等」についての課題もあります。3～4月の連絡に十分注意してください。

事後指導は、実習終了後2週間以内に実習後レポートを提出し、11月後半に開催される事後指導に必ず出席してください。

16. 介護等体験実習の履修方法

中学校教諭の免許状取得希望者は介護等体験実習が必修になりますので、以下に留意しておいてください。
また、2年次後期に実習希望届を提出してもらうので、掲示に注意してください。

I. 介護等体験実習の内容

介護等の体験とは、18歳に達した後、7日間を下らない範囲内において、文部科学省令で定める期間、盲学校・聾学校若しくは養護学校又は社会福祉施設、その他の社会福祉施設、その他の施設で文部大臣が厚生大臣と協議して定めるものにおいて行われる介護等の体験を指します。

II. 実習場所と期間

- 1 特別支援学校（盲・聾・養護学校）：原則として2日間連続（5月～2月）
- 2 社会福祉施設（老人ホーム等）：原則として5日間連続（5月～2月）

III. 実習費用

食費、交通費、その他については、自己負担です。

実習経費については、

- 1 特別支援学校（盲・聾・養護学校）は無料。
- 2 社会福祉施設（老人ホーム等）は、1日当たり2,000円×5日＝10,000円
これに諸経費（ガイドブック代等）約2,500円を加えた合計 約12,500円となります。

IV. 実習の実施時期（学年）

3年次に実施します。

V. 実習のための必修要件（2年次後期終了まで）

1. 教養教育の卒業所要単位のうち、20単位以上修得してください。
2. 教育の基礎的理解に関する科目 または 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 について、4単位以上修得してください。
3. 教科に関する専門的事項 について、16単位以上を修得してください。
4. 介護等体験実習年度に実施する定期健康診断を受検してください。
5. 麻疹の抗体を有していること又はワクチン接種済みの証明書を提出してください。
6. 「学生教育研究災害傷害保険」と「学生教育研究賠償責任保険」の両方、もしくは「学生総合共済（生命共済）」と「学生賠償責任保険」の両方の保険に加入してください。
7. 介護等体験実習を行う年度のガイダンスを受けてください。（3年次の4月中旬予定）
8. 介護等体験のガイドブックを3年次に行うガイダンスで購買してください。（事前に購入する必要はありません。）

ア. 特別支援学校における介護等体験ガイドブック 「フィリア」 全国特別支援学校長会編著
ジ アース教育新社発行
イ. 「よくわかる社会福祉施設」―教員免許志願者のためのガイドブック―
社会福祉法人全国社会福祉協議会発行

【参考】各免許状の必要単位数について

免許種	必修科目を全て 修得した際の単位数	所要資格（５９単位） までの残単位数	注 意 点
中学校教諭一種免許状「国語」	５８	１	
高等学校教諭一種免許状「国語」 （高校の免許状のみを取得する場合）	４８	１１	書道Ⅰはカウントされないのに注意が必要です。 中学校教諭一種免許状「国語」と同時に取得する 場合には、中学校教諭一種免許状「国語」の単位 数に２単位多く修得する必要があります。
中学校教諭一種免許状「社会」	６８	０	
高等学校教諭一種免許状「地理歴史」 （地理歴史のみ取得の場合）	５２	７	
高等学校教諭一種免許状「地理歴史」 （中一種社会と同時に取得の場合）	６０	０	
高等学校教諭一種免許状「公民」 （公民のみ取得の場合）	４８	１１	
高等学校教諭一種免許状「公民」 （中一種社会と同時に取得の場合）	５６	３	
高等学校教諭一種免許状「商業」	４８	１１	
中学校教諭一種免許状「英語」	５８	１	
高等学校教諭一種免許状「英語」 （高校の免許状のみを取得する場合）	５０	９	中学校教諭一種免許状と同時取得の場 合は、中学校教諭一種免許状「英語」の 単位数を参考にしてください。

※「必修科目を全て修得した際の単位数」について、選択必修についてはどちらか一方を修得したと仮定しています。

※必修科目とは、別表第１０の科目および「教科および教科の指導法に関する科目」における必修科目の単位数です。

教育実習要件 チェックシート

3年次後期終了まで に次の条件を満たしておいてください。

授 業 科 目		チェック欄
① 教 養 教 育 科 目	法と社会 B 2単位	☐ 必修
	運動と健康 B 2単位	☐ 必修
	English Communication A・English Communication B から1科目2単位	☐ 必修
	データサイエンス基礎 2単位	☐ 必修
	上記4科目+他の教養教育科目の単位を含め 34単位以上 ※上記4科目はすべて修得すること	☐
②	教育原理 2単位	☐ 必修
	教職入門 2単位	☐ 必修
	発達心理学 2単位	☐ 必修
	教育の社会制度論 2単位	☐ 必修
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 2単位	☐ 必修
	教育方法・情報通信技術活用論 2単位	☐ 必修
	生徒指導・進路指導の理論と方法 2単位	☐ 必修
	教育相談の理論と方法 2単位	☐ 必修
	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。） 実習をおこなう教科で2単位以上 （P.2～P.10 参照）	☐ 必修
③	上記9科目18単位以上	☐
	②の単位と実習をおこなう教科の「教科に関する専門的 事項」（P.2～P.10 参照）の単位を合わせて32単位以上 ※②の単位はすべて修得すること	☐

介護等体験実習要件チェックシート

2年次後期終了まで に次の条件を満たしておいてください。

授 業 科 目		チェック欄
①	教養教育科目 20単位以上 修得すること	☐
②	「教育の基礎的理解に関する科目」 または 「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、 教育相談等に関する科目」 （P.11 参照） 4単位以上 修得すること	☐
③	「教科に関する専門的事項」 （P.2～P.10 参照） 16単位以上 修得すること ※取得希望教科の「教科に関する専門的事項」を16単 位以上修得すること ※複数教科の「教科に関する専門的事項」を合算して 16単位とすることは不可	☐

授業科目		最低必修 単位数	修得単 位計	備 考
1. 教科及び教科の指導法に関する科目	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	☐ 日 本 語 学 (2) ☐ 日 本 語 学 演 習 I (2) ☐ 日 本 語 学 演 習 II (2) ☐	4	
	国文学(国文学史を含む。)	☐ 日 本 古 典 文 学 (2) ☐ 日 本 近 現 代 文 学 (2) ☐ 文 学 と 文 化 (2) ☐ 民 俗 学 (2) ☐	12	
		☐ 日 本 古 典 文 学 演 習 I (2) ☐ 日 本 古 典 文 学 演 習 II (2) ☐		
		☐ 日 本 近 現 代 文 学 演 習 I (2) ☐ 日 本 近 現 代 文 学 演 習 II (2) ☐		
		☐ 東 ア ジ ア 文 学 演 習 I (2) ☐ 東 ア ジ ア 文 学 演 習 II (2) ☐		
		☐ 東 ア ジ ア 文 化 と 文 学 (2) ☐	4	
	漢文学	☐ 東 ア ジ ア 文 学 論 (2) ☐		
	書道(書写を中心とする。)	☐ 書 道 I (2) ☐	2	
		☐ 国 語 科 教 育 法 (2) ☐		
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	☐ 国 語 科 授 業 論 (2) ☐ 国 語 科 教 材 論 (2) ☐ 国 語 科 教 育 方 法 論 (2) ☐	8	
2. 教育の基礎的理解に関する科目	合 計		28	
	教育の基礎的理解に関する科目	☐ 教 育 原 理 (2) ☐ 教 職 入 門 (2) ☐ 教 育 の 社 会 制 度 論 (2) ☐ 発 達 心 理 学 (2) ☐ 特別は教育的ニーズの理解とその支援(1) ☐ 教 育 課 程 論 (2) ☐ 道 徳 の 歴 史 と 方 法 (2) ☐ 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法(2) ☐ 教育方法・情報通信技術活用論(2) ☐ 生徒指導・進路指導の理論と方法(2) ☐ 教育相談の理論と方法(2) ☐	10	
		☐ 教 育 実 習 I (2) ☐ 教 育 実 習 II (2) ☐ 事 前 ・ 事 後 指 導 (1) ☐ 教 職 実 践 演 習 (2) ☐	7	
				1～4の科目の最低修得単位数を超えて修得した単位を充てることができる。
	大学が独自に設定する科目		4	
				1科目選択必修
3. 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	☐ 法 と 社 会 B (2) ☐ 運 動 と 健 康 B (2) ☐ English Communication A・B (2) ☐ デ ー タ サ イ エ ン ス 基 礎 (2) ☐ 介 護 等 体 験 実 習 ☐		科目ではないが中一種免必須
4. 教育実践に関する科目	大学が独自に設定する科目			
5. 大学が独自に設定する科目	教育実践に関する科目			
教養教育他	教育実践に関する科目			

注1 科目名などの後ろにある()内数字は単位数である。

注2 「○」を付している科目は必修科目とする。

注3 「●」を付している科目は選択必修とする。

最終チェック(以下のチェック項目を全て満たすことにより、卒業時に教員免許状が授与されます。)

- ☐ 全ての必修・選択必修を修得。
- ☐ 1.「教科及び教科の指導法に関する科目」を28単位以上修得。
- ☐ 2.「教育の基礎的理解に関する科目」を10単位以上修得。
- ☐ 3.「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」を10単位以上修得。
- ☐ 4.「教育実践に関する科目」を7単位以上修得。
- ☐ 5.「大学が独自に設定する科目」を4単位以上修得。
- ☐ 教養科目より「法と社会B」2単位、「運動と健康B」2単位、「English Communication」2単位、「データサイエンス基礎」2単位を修得。
- ☐ 介護等体験実習を修了。
- ☐ 1～5の修得単位数の合計が**59単位以上**である。

確認欄			
	3年前期	3年後期	4年前期
			4年後期

授業科目		最低修得 単位数	修得単 位計	備考
1. 教科及び教科の指導法に関する科目	英語学	○ 英語学 A(2) ☐	2	
	言語文化論 (2) ☐			
	英語文学	○ 英米文学 A(2) ☐	6	
		○ 英米文学 B(2) ☐		
		● 文学基礎論 A(2) ☐		
		● 文学基礎論 B(2) ☐		
	英語コミュニケーション	○ グローバルコミュニケーション論A(2) ☐	10	
		グローバルコミュニケーション論B(2) ☐		
		○ 英語コミュニケーションA(2) ☐		
		○ 英語コミュニケーションB(2) ☐		
		○ 英語コミュニケーションC(2) ☐		
		○ 英語コミュニケーションD(2) ☐		
		○ 英語コミュニケーションE(2) ☐		
		英語コミュニケーションF(2) ☐		
	異文化理解	○ アメリカ・オセアニア地域学A ☐	4	
○ アメリカ・オセアニア地域学B ☐				
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	○ 英語科教育法 (2) ☐	8	英語科新教法*1 英語科授業論*2 *1-2の順序で履修	
	○ 英語科授業論 (2) ☐			
	○ 英語科教材論 (2) ☐			
	○ 英語科教育方法論 (2) ☐			
合 計		28		
2. 教育の基礎的理解に関する科目				
3. 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	○ 教育原理 (2) ☐	10		
	○ 教職入門 (2) ☐			
	○ 教育の社会制度論 (2) ☐			
	○ 発達心理学 (2) ☐			
	○ 特別な教育的ニーズの理解とその支援(1) ☐			
	○ 教育課程論 (2) ☐			
	○ 道徳の歴史と方法 (2) ☐			
	○ 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法(2) ☐			
4. 教育実践に関する科目	○ 教育方法・情報通信技術活用論(2) ☐	7		
	○ 生徒指導・進路指導の理論と方法(2) ☐			
	○ 教育相談の理論と方法 (2) ☐			
	○ 教育実習Ⅰ (2) ☐			
	○ 教育実習Ⅱ (2) ☐			
	○ 事前・事後指導 (1) ☐			
	○ 教職実践演習 (2) ☐			
5. 大学が独自に設定する科目		4		1～4の科目の最低修得単位数を超えて修得した単位を充てることができる。
教養教育	○ 法と社会 B (2) ☐			1科目選択必修
	○ 運動と健康 B (2) ☐			
	○ English Communication A・B (2) ☐			
	○ データサイエンス基礎(2) ☐			
他	○ 介護等体験実習 ☐			科目ではないが中一種免必須
注1 科目名などの後ろにある()内数字は単位数である。				
注2 「○」を付している科目は必修科目とする。				
注3 「●」を付している科目は選択必修とする。				

最終チェック(以下)のチェック項目を全て満たすことにより、卒業時に教員免許状が授与されます。)

- ☐ 全ての必修・選択必修を修得。
- ☐ 1.「教科及び教科の指導法に関する科目」を28単位以上修得。
- ☐ 2.「教育の基礎的理解に関する科目」を10単位以上修得。
- ☐ 3.「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」を10単位以上修得。
- ☐ 4.「教育実践に関する科目」を7単位以上修得。
- ☐ 5.「大学が独自に設定する科目」を4単位以上修得。
- ☐ 教養科目より「法と社会B」2単位、「運動と健康B」2単位、「English Communication」2単位、「データサイエンス基礎」2単位を修得。
- ☐ 介護等体験実習を修了。
- ☐ 1～5の修得単位数の合計が**59単位以上**である。

確認欄				
	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期

「教員免許取得チェックシート」(24H以降生用)				中学校教諭一種免許状(社会) 文化創造課程			
授業科目		取得単位 単位数	修得単位 単位数	備考			
1. 教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史及び外国史	☐ 〇 日本史 ②	8			
			☐ 〇 中国史 ②				
			☐ 〇 西洋史 ②				
			☐ 〇 ユーラシア史 ②				
			☐ 〇 民俗と文化 ②				
			☐ 〇 文化財論 ②				
			☐ 〇 日本考古学 ②				
			☐ 〇 西洋考古学 ②				
			☐ 〇 人文地理 A②				
			☐ 〇 人文地理 B②				
2. 教育の基礎的理解に関する科目	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	地理学(地誌を含む。)	☐ 〇 自然地理 A②	10			
			☐ 〇 自然地理 B②				
			☒ ● 地誌 A②				
			☐ 〇 地誌 B②				
		「法学、政治学」	☐ 〇 法学 ②	4			
			☐ 〇 私法学 ②				
			☐ 〇 行政学 ②				
			☐ 〇 憲法 ②				
		「社会学、経済学」	☐ 〇 社会学 ②	6			
			☐ 〇 ミクロ経済学Ⅰ ②				
			☐ 〇 ミクロ経済学Ⅱ ②				
			☐ 〇 マクロ経済学Ⅱ ②				
3. 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	合 計	「哲学、倫理学、宗教学」	☐ 〇 思想と文化 ②	4			
			☐ 〇 日本倫理思想 ②				
			☐ 〇 西洋倫理思想 ②				
			☐ 〇 東アジア思想 ②				
			☐ 〇 日本倫理思想演習Ⅰ ②				
			☐ 〇 日本倫理思想演習Ⅱ ②				
		各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	☐ 〇 社会科学教育法 ②	8			
			☐ 〇 社会科授業論 ②				
			☐ 〇 中等社会・地理歴史科授業構成論 ②				
			☐ 〇 中等社会・公民科授業構成論 ②				
4. 教育実践に関する科目	合 計	教育の基礎的理解に関する科目	☐ 〇 教育原理 ②	28			
			☐ 〇 教育職入門 ②				
			☐ 〇 教育の社会制度論 ②				
			☐ 〇 発達心理学 ②				
			☐ 〇 特別な教育的ニーズの理解とその支援(1) ②				
			☐ 〇 教育課程論 ②				
			☐ 〇 道徳の歴史と方法 ②				
			☐ 〇 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法(2) ②				
			☐ 〇 教育方法・情報通信技術活用論(2) ②				
			☐ 〇 生徒指導・進路指導の理論と方法(2) ②				
5. 大学が独自に設定する科目	合 計	教育相談の理論と方法 ②	☐ 〇 教育相談の理論と方法 ②	10			
			☐ 〇 教育実習Ⅰ ②				
			☐ 〇 教育実習Ⅱ ②				
			☐ 〇 事前・事後指導(1) ②				
			☐ 〇 教育実践演習 ②				
		教育の基礎的理解に関する科目	☐ 〇 道徳の歴史と方法 ②	7			
			☐ 〇 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法(2) ②				
			☐ 〇 教育方法・情報通信技術活用論(2) ②				
			☐ 〇 生徒指導・進路指導の理論と方法(2) ②				
		教育実践に関する科目	☐ 〇 教育相談の理論と方法 ②	10			
			☐ 〇 教育実習Ⅰ ②				
			☐ 〇 教育実習Ⅱ ②				
			☐ 〇 事前・事後指導(1) ②				
6. 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	合 計	教育の基礎的理解に関する科目	☐ 〇 教育実践演習 ②	7			
			☐ 〇 道徳の歴史と方法 ②				
			☐ 〇 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法(2) ②				
			☐ 〇 教育方法・情報通信技術活用論(2) ②				
			☐ 〇 生徒指導・進路指導の理論と方法(2) ②				
			☐ 〇 教育相談の理論と方法 ②				
			☐ 〇 教育実習Ⅰ ②				
			☐ 〇 教育実習Ⅱ ②				
			☐ 〇 事前・事後指導(1) ②				
			☐ 〇 教育実践演習 ②				
7. 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	合 計	教育の基礎的理解に関する科目	☐ 〇 道徳の歴史と方法 ②	4			
			☐ 〇 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法(2) ②				
			☐ 〇 教育方法・情報通信技術活用論(2) ②				
			☐ 〇 生徒指導・進路指導の理論と方法(2) ②				
			☐ 〇 教育相談の理論と方法 ②				
			☐ 〇 教育実習Ⅰ ②				
			☐ 〇 教育実習Ⅱ ②				
			☐ 〇 事前・事後指導(1) ②				
			☐ 〇 教育実践演習 ②				
			☐ 〇 道徳の歴史と方法 ②				
8. 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	合 計	教育の基礎的理解に関する科目	☐ 〇 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法(2) ②	4			
			☐ 〇 教育方法・情報通信技術活用論(2) ②				
			☐ 〇 生徒指導・進路指導の理論と方法(2) ②				
			☐ 〇 教育相談の理論と方法 ②				
			☐ 〇 教育実習Ⅰ ②				
			☐ 〇 教育実習Ⅱ ②				
			☐ 〇 事前・事後指導(1) ②				
			☐ 〇 教育実践演習 ②				
			☐ 〇 道徳の歴史と方法 ②				
			☐ 〇 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法(2) ②				
9. 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	合 計	教育の基礎的理解に関する科目	☐ 〇 教育方法・情報通信技術活用論(2) ②	4			
			☐ 〇 生徒指導・進路指導の理論と方法(2) ②				
			☐ 〇 教育相談の理論と方法 ②				
			☐ 〇 教育実習Ⅰ ②				
			☐ 〇 教育実習Ⅱ ②				
			☐ 〇 事前・事後指導(1) ②				
			☐ 〇 教育実践演習 ②				
			☐ 〇 道徳の歴史と方法 ②				
			☐ 〇 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法(2) ②				
			☐ 〇 教育方法・情報通信技術活用論(2) ②				
10. 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	合 計	教育の基礎的理解に関する科目	☐ 〇 生徒指導・進路指導の理論と方法(2) ②	4			
			☐ 〇 教育相談の理論と方法 ②				
			☐ 〇 教育実習Ⅰ ②				
			☐ 〇 教育実習Ⅱ ②				
			☐ 〇 事前・事後指導(1) ②				
			☐ 〇 教育実践演習 ②				
			☐ 〇 道徳の歴史と方法 ②				
			☐ 〇 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法(2) ②				
			☐ 〇 教育方法・情報通信技術活用論(2) ②				
			☐ 〇 生徒指導・進路指導の理論と方法(2) ②				
11. 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	合 計	教育の基礎的理解に関する科目	☐ 〇 教育相談の理論と方法 ②	4			
			☐ 〇 教育実習Ⅰ ②				
			☐ 〇 教育実習Ⅱ ②				
			☐ 〇 事前・事後指導(1) ②				
			☐ 〇 教育実践演習 ②				
			☐ 〇 道徳の歴史と方法 ②				
			☐ 〇 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法(2) ②				
			☐ 〇 教育方法・情報通信技術活用論(2) ②				
			☐ 〇 生徒指導・進路指導の理論と方法(2) ②				
			☐ 〇 教育相談の理論と方法 ②				
12. 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	合 計	教育の基礎的理解に関する科目	☐ 〇 教育実習Ⅰ ②	4			
			☐ 〇 教育実習Ⅱ ②				
			☐ 〇 事前・事後指導(1) ②				
			☐ 〇 教育実践演習 ②				
			☐ 〇 道徳の歴史と方法 ②				
			☐ 〇 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法(2) ②				
			☐ 〇 教育方法・情報通信技術活用論(2) ②				
			☐ 〇 生徒指導・進路指導の理論と方法(2) ②				
			☐ 〇 教育相談の理論と方法 ②				
			☐ 〇 教育実習Ⅰ ②				
13. 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	合 計	教育の基礎的理解に関する科目	☐ 〇 教育実習Ⅱ ②	4			
			☐ 〇 事前・事後指導(1) ②				
			☐ 〇 教育実践演習 ②				
			☐ 〇 道徳の歴史と方法 ②				
			☐ 〇 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法(2) ②				

「教員免許取得チェックシート」(24H以降生用)			中学校教諭一種免許状(社会) 社会経営課程		
1・教科及び教科の指導法に関する科目	授業科目	単位数	修得単 位計	備考	
教科に関する専門的事項	日本史及び外国史	☐ 〇 日本史 ② ☐ ☐ 〇 中国史 ② ☐ ☐ 〇 西洋史 ② ☐ ☐ 〇 ユーラシア史 ② ☐ ☐ 〇 民俗と文化 ② ☐ ☐ 〇 文化財論 ② ☐ ☐ 〇 日本考古学 ② ☐ ☐ 〇 西洋考古学 ② ☐ ☐ 〇 基礎地理学 A② ☐ ☐ 〇 基礎地理学 B② ☐ ☐ 〇 環境地理学 A② ☐ ☐ 〇 環境地理学 B② ☐ ☐ 〇 地域地理学 A② ☐ ☐ 〇 地域地理学 B② ☐ ☐ 〇 公法 ② ☐ ☐ 〇 私法 ② ☐ ☐ 〇 行政学 ② ☐ ☐ 〇 憲法 ② ☐ ☐ 〇 民法 ② ☐ ☐ 〇 社会学 ② ☐ ☐ 〇 ミクロ経済学 I ② ☐ ☐ 〇 ミクロ経済学 II ② ☐ ☐ 〇 マクロ経済学 I ② ☐ ☐ 〇 マクロ経済学 II ② ☐ ☐ 〇 社会心理学 ② ☐ ☐	8		
	地理学(地誌を含む。)	☐ 〇 基礎地理学 A② ☐ ☐ 〇 基礎地理学 B② ☐ ☐ 〇 環境地理学 A② ☐ ☐ 〇 環境地理学 B② ☐ ☐ 〇 地域地理学 A② ☐ ☐ 〇 地域地理学 B② ☐ ☐ 〇 公法 ② ☐ ☐ 〇 私法 ② ☐ ☐ 〇 行政学 ② ☐ ☐ 〇 憲法 ② ☐ ☐ 〇 民法 ② ☐ ☐ 〇 社会学 ② ☐ ☐ 〇 ミクロ経済学 I ② ☐ ☐ 〇 ミクロ経済学 II ② ☐ ☐ 〇 マクロ経済学 I ② ☐ ☐ 〇 マクロ経済学 II ② ☐ ☐ 〇 社会心理学 ② ☐ ☐	10		
	「法学、政治学」	☐ 〇 私法 ② ☐ ☐ 〇 行政学 ② ☐ ☐ 〇 憲法 ② ☐ ☐ 〇 民法 ② ☐ ☐	4		
	「社会学、経済学」	☐ 〇 社会学 ② ☐ ☐ 〇 ミクロ経済学 I ② ☐ ☐ 〇 ミクロ経済学 II ② ☐ ☐ 〇 マクロ経済学 I ② ☐ ☐ 〇 マクロ経済学 II ② ☐ ☐ 〇 社会心理学 ② ☐ ☐	6		
	「哲学、倫理学、宗教学」	☐ 〇 思想と文化 ② ☐ ☐ 〇 日本倫理思想 ② ☐ ☐ 〇 西洋倫理思想 ② ☐ ☐ 〇 東アジア思想 ② ☐ ☐ 〇 日本倫理思想演習 I ② ☐ ☐ 〇 日本倫理思想演習 II ② ☐ ☐	4		
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	☐ 〇 社会科学教育法 ② ☐ ☐ 〇 社会科授業論 ② ☐ ☐ 〇 中等社会・地理歴史科授業構成論 ② ☐ ☐ 〇 中等社会・公民科授業構成論 ☐ ☐	8		
	合 計		28		
	2. 教育の基礎的理解に関する科目	☐ 〇 教育原理 ② ☐ ☐ 〇 教育職入門 ② ☐ ☐ 〇 教育の社会制度論 ② ☐ ☐ 〇 発達心理学 ② ☐ ☐ 〇 特別な教育的ニーズの理解とその支援① ☐ ☐ 〇 教育課程論 ② ☐ ☐ 〇 道徳の歴史と方法 ② ☐ ☐ 〇 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法② ☐ ☐ 〇 教育方法・情報通信技術活用論② ☐ ☐ 〇 生徒指導・進路指導の理論と方法② ☐ ☐ 〇 教育相談の理論と方法 ② ☐ ☐ 〇 教育実習 I ② ☐ ☐ 〇 教育実習 II ② ☐ ☐ 〇 事前・事後指導 ① ☐ ☐ 〇 教職実践演習 ② ☐ ☐	10		
	3. 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	☐ 〇 道徳の歴史と方法 ② ☐ ☐ 〇 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法② ☐ ☐ 〇 教育方法・情報通信技術活用論② ☐ ☐ 〇 生徒指導・進路指導の理論と方法② ☐ ☐ 〇 教育相談の理論と方法 ② ☐ ☐ 〇 教育実習 I ② ☐ ☐ 〇 教育実習 II ② ☐ ☐ 〇 事前・事後指導 ① ☐ ☐ 〇 教職実践演習 ② ☐ ☐	10		
	4. 教育実践に関する科目	☐ 〇 教育実習 I ② ☐ ☐ 〇 教育実習 II ② ☐ ☐ 〇 事前・事後指導 ① ☐ ☐ 〇 教職実践演習 ② ☐ ☐	7		
	5. 大学が独自に設定する科目	☐ 〇 法と社会 B ② ☐ ☐ 〇 運動と健康 B ② ☐ ☐ 〇 English Communication A・B ② ☐ ☐ 〇 データサイエンス基礎 ② ☐ ☐ 〇 介護等体験実習 ☐ ☐	4	1～4の科目の最低修得単位数を超えて修得単位数を充てることができる。	1科目選択必修 科目ではないが中 一種必須

注1 科目名などの後ろにある()内数字は単位数である。

注2 「〇」を付している科目は必修科目とする。

注3 「●」を付している科目は選択必修とする。

最終チェック(以下のチェック項目を全て満たすことにより、卒業時に教員免許状が授与されます。)

- ☐ 全ての必修・選択必修を修得。
- ☐ 1.「教科及び教科の指導法に関する科目」を28単位以上修得。
- ☐ 2.「教育の基礎的理解に関する科目」を10単位以上修得。
- ☐ 3.「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」を10単位以上修得。
- ☐ 4.「教育実践に関する科目」を7単位以上修得。
- ☐ 5.「大学が独自に設定する科目」を4単位以上修得。
- ☐ 教養科目より「法と社会B」2単位、「運動と健康B」2単位、「English Communication」2単位、「データサイエンス基礎」2単位を修得。
- ☐ 「介護等体験実習」を修得。
- ☐ 1～5の修得単位数の合計が**59単位以上**である。

修得単				
		3年前期	3年後期	4年前期
				4年後期

授業科目		最低修得 単位数	修得単 位計	備考
1. 教科及び教科の指導法に関する科目	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	☐ 国語学演習Ⅰ(2) ☐ 国語学演習Ⅱ(2) ☐ 日本語学Ⅱ(2) ☐ 日本語学Ⅱ(2) ☐ 国語学Ⅱ(2) ☐ 国語学Ⅱ(2) ☐ 国語学Ⅱ(2) ☐ 国語学Ⅱ(2) ☐ 国語学Ⅱ(2) ☐ 国語学Ⅱ(2)	4	
	国文学(国文学史を含む。)	☐ 国文学Ⅰ(2) ☐ 国文学Ⅱ(2) ☐ 国文学Ⅲ(2) ☐ 国文学Ⅳ(2) ☐ 国文学Ⅴ(2) ☐ 国文学Ⅵ(2) ☐ 国文学Ⅶ(2) ☐ 国文学Ⅷ(2) ☐ 国文学Ⅸ(2) ☐ 国文学Ⅹ(2)	12	
	漢文学	☐ 漢文学Ⅰ(2) ☐ 漢文学Ⅱ(2) ☐ 漢文学Ⅲ(2) ☐ 漢文学Ⅳ(2) ☐ 漢文学Ⅴ(2) ☐ 漢文学Ⅵ(2) ☐ 漢文学Ⅶ(2) ☐ 漢文学Ⅷ(2) ☐ 漢文学Ⅸ(2) ☐ 漢文学Ⅹ(2)	4	
	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	☐ 国語学Ⅰ(2) ☐ 国語学Ⅱ(2) ☐ 国語学Ⅲ(2) ☐ 国語学Ⅳ(2) ☐ 国語学Ⅴ(2) ☐ 国語学Ⅵ(2) ☐ 国語学Ⅶ(2) ☐ 国語学Ⅷ(2) ☐ 国語学Ⅸ(2) ☐ 国語学Ⅹ(2)		
	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	☐ 国語学Ⅰ(2) ☐ 国語学Ⅱ(2) ☐ 国語学Ⅲ(2) ☐ 国語学Ⅳ(2) ☐ 国語学Ⅴ(2) ☐ 国語学Ⅵ(2) ☐ 国語学Ⅶ(2) ☐ 国語学Ⅷ(2) ☐ 国語学Ⅸ(2) ☐ 国語学Ⅹ(2)		
	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	☐ 国語学Ⅰ(2) ☐ 国語学Ⅱ(2) ☐ 国語学Ⅲ(2) ☐ 国語学Ⅳ(2) ☐ 国語学Ⅴ(2) ☐ 国語学Ⅵ(2) ☐ 国語学Ⅶ(2) ☐ 国語学Ⅷ(2) ☐ 国語学Ⅸ(2) ☐ 国語学Ⅹ(2)		
	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	☐ 国語学Ⅰ(2) ☐ 国語学Ⅱ(2) ☐ 国語学Ⅲ(2) ☐ 国語学Ⅳ(2) ☐ 国語学Ⅴ(2) ☐ 国語学Ⅵ(2) ☐ 国語学Ⅶ(2) ☐ 国語学Ⅷ(2) ☐ 国語学Ⅸ(2) ☐ 国語学Ⅹ(2)		
	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	☐ 国語学Ⅰ(2) ☐ 国語学Ⅱ(2) ☐ 国語学Ⅲ(2) ☐ 国語学Ⅳ(2) ☐ 国語学Ⅴ(2) ☐ 国語学Ⅵ(2) ☐ 国語学Ⅶ(2) ☐ 国語学Ⅷ(2) ☐ 国語学Ⅸ(2) ☐ 国語学Ⅹ(2)		
	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	☐ 国語学Ⅰ(2) ☐ 国語学Ⅱ(2) ☐ 国語学Ⅲ(2) ☐ 国語学Ⅳ(2) ☐ 国語学Ⅴ(2) ☐ 国語学Ⅵ(2) ☐ 国語学Ⅶ(2) ☐ 国語学Ⅷ(2) ☐ 国語学Ⅸ(2) ☐ 国語学Ⅹ(2)		
	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	☐ 国語学Ⅰ(2) ☐ 国語学Ⅱ(2) ☐ 国語学Ⅲ(2) ☐ 国語学Ⅳ(2) ☐ 国語学Ⅴ(2) ☐ 国語学Ⅵ(2) ☐ 国語学Ⅶ(2) ☐ 国語学Ⅷ(2) ☐ 国語学Ⅸ(2) ☐ 国語学Ⅹ(2)		
2. 教育の基礎的理解に関する科目	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	☐ 国語学Ⅰ(2) ☐ 国語学Ⅱ(2) ☐ 国語学Ⅲ(2) ☐ 国語学Ⅳ(2) ☐ 国語学Ⅴ(2) ☐ 国語学Ⅵ(2) ☐ 国語学Ⅶ(2) ☐ 国語学Ⅷ(2) ☐ 国語学Ⅸ(2) ☐ 国語学Ⅹ(2)	24	
3. 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	☐ 国語学Ⅰ(2) ☐ 国語学Ⅱ(2) ☐ 国語学Ⅲ(2) ☐ 国語学Ⅳ(2) ☐ 国語学Ⅴ(2) ☐ 国語学Ⅵ(2) ☐ 国語学Ⅶ(2) ☐ 国語学Ⅷ(2) ☐ 国語学Ⅸ(2) ☐ 国語学Ⅹ(2)	10	
4. 教育実践に関する科目	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	☐ 国語学Ⅰ(2) ☐ 国語学Ⅱ(2) ☐ 国語学Ⅲ(2) ☐ 国語学Ⅳ(2) ☐ 国語学Ⅴ(2) ☐ 国語学Ⅵ(2) ☐ 国語学Ⅶ(2) ☐ 国語学Ⅷ(2) ☐ 国語学Ⅸ(2) ☐ 国語学Ⅹ(2)	8	
5. 大学が独自に設定する科目	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	☐ 国語学Ⅰ(2) ☐ 国語学Ⅱ(2) ☐ 国語学Ⅲ(2) ☐ 国語学Ⅳ(2) ☐ 国語学Ⅴ(2) ☐ 国語学Ⅵ(2) ☐ 国語学Ⅶ(2) ☐ 国語学Ⅷ(2) ☐ 国語学Ⅸ(2) ☐ 国語学Ⅹ(2)	5	
教養教育	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	☐ 国語学Ⅰ(2) ☐ 国語学Ⅱ(2) ☐ 国語学Ⅲ(2) ☐ 国語学Ⅳ(2) ☐ 国語学Ⅴ(2) ☐ 国語学Ⅵ(2) ☐ 国語学Ⅶ(2) ☐ 国語学Ⅷ(2) ☐ 国語学Ⅸ(2) ☐ 国語学Ⅹ(2)	12	1～4の科目の最低修得単位数を超えて修得した単位を充てることができる。
他	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	☐ 国語学Ⅰ(2) ☐ 国語学Ⅱ(2) ☐ 国語学Ⅲ(2) ☐ 国語学Ⅳ(2) ☐ 国語学Ⅴ(2) ☐ 国語学Ⅵ(2) ☐ 国語学Ⅶ(2) ☐ 国語学Ⅷ(2) ☐ 国語学Ⅸ(2) ☐ 国語学Ⅹ(2)		1科目選択必修

注1 科目名などの後ろにある()内数字は単位数である。
注2 「○」を付している科目は必修科目とする。
注3 「●」を付している科目は選択必修とする。

最終チェック(以下のチェック項目を全て満たすことにより、卒業時に教員免許状が授与されます。)

☐ 全ての必修・選択必修を修得。
☐ 1.「教育の基礎的理解に関する科目」を10単位以上修得。
☐ 2.「教育の基礎的理解に関する科目」を10単位以上修得。
☐ 3.「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」を8単位以上修得。
☐ 4.「教育実践に関する科目」を5単位以上修得。
☐ 5.「大学が独自に設定する科目」を12単位以上修得。
☐ 教養科目より「法と社会B」2単位、「運動と健康B」2単位、「English Communication」2単位、「データサイエンス基礎」2単位を修得。
☐ 1～5の修得単位数の合計が**59単位以上**である。

確認欄			
3年前期	3年後期	4年前期	4年後期

授業科目		取得単 位計	備考	
1. 教科及び教科の指導法に関する科目	英語学	☐ 英語文化論(2)	2	
	英語文学	☐ 英米文学A(2)		
		☐ 英米文学B(2)		
		☐ 文学基礎論A(2)		
		☐ 文学基礎論B(2)		
		☐ クローハル・コミュニケーション論A(2)		
		☐ クローハル・コミュニケーション論B(2)		
		☐ 英語コミュニケーションA(2)		
		☐ 英語コミュニケーションB(2)		
		☐ 英語コミュニケーションC(2)		
		☐ 英語コミュニケーションD(2)		
		☐ 英語コミュニケーションE(2)		
		☐ 英語コミュニケーションF(2)		
		異文化理解		☐ アメリカ・オセアニア地域学A
		☐ アメリカ・オセアニア地域学B		
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	☐ 英語科教育法(2)			
	☐ 英語科授業論(2)			
	☐ 英語科教材論(2)			
	☐ 英語科教育方法論(2)			
合 計	24			
2. 教育の基礎的理解に関する科目	☐ 教育原理(2)	10		
	☐ 教職入門(2)			
	☐ 教育の社会制度論(2)			
	☐ 発達心理学(2)			
	☐ 特別な教育的ニーズの理解とその支援(1)			
3. 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	☐ 教育課程論(2)	8		
	☐ 道徳の歴史と方法(2)			
	☐ 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法(2)			
	☐ 教育方法・情報通信技術活用論(2)			
	☐ 生徒指導・進路指導の理論と方法(2)			
4. 教育実践に関する科目	☐ 教育相談の理論と方法(2)	5		
	☐ 教育実習Ⅰ(2)			
	☐ 教育実習Ⅱ(2)			
	☐ 事前・事後指導(1)			
	☐ 教職実践演習(2)			
5. 大学が独自に設定する科目		12		
教養教育	☐ 法と社会B(2)			
	☐ 運動と健康B(2)			
	☐ English Communication A・B(2)			
	☐ データサイエンス基礎(2)			
他				
注1 科目名などの後ろにある()内数字は単位数である。				
注2 「○」を付している科目は必修科目とする。				
注3 「●」を付している科目は選択必修とする。				

最終チェック(以下のチェック項目を全て満たすことにより、卒業時に教員免許状が授与されます。)

- ☐ 全ての必修・選択必修を修得。
- ☐ 1.「教科及び教科の指導法に関する科目」を24単位以上修得。
- ☐ 2.「教育の基礎的理解に関する科目」を10単位以上修得。
- ☐ 3.「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」を8単位以上修得。
- ☐ 4.「教育実践に関する科目」を5単位以上修得。
- ☐ 5.「大学が独自に設定する科目」を12単位以上修得。
- ☐ 教養科目より「法と社会B」2単位、「運動と健康B」2単位、「English Communication」2単位、「データサイエンス基礎」2単位を修得。
- ☐ 1～5の修得単位数の合計が**59単位以上**である。

確認欄			
	3年前期	3年後期	4年前期
			4年後期

「教員免許取得チェックシート」(24H以降学生用)				高等学校教諭一種免許状(地理歴史)				
				文化・創生課程				
				授業科目		最終修得 単位数	修得単 位計	備考
1. 教科及び教科の指導法に関する科目	日本史	教科に関する専門的事項	○ 日本史 (2)	☐	6			
			○ 日本考古学 (2)	☐				
			○ 文化財論 (2)	☐				
			○ 民俗と文化 (2)	☐				
			○ 中国史 (2)	☐				
	外国史		○ 西洋史 (2)	☐	8			
			○ ユーラシア史 (2)	☐				
			○ 西洋考古学 (2)	☐				
			○ 人文地理 A(2)	☐				
			○ 人文地理 B(2)	☐				
人文地理及び自然地理学		○ 自然地理 A(2)	☐	8		自然地理学基礎演習、地理学巡検Ⅰ、地理学巡検Ⅱは教育学部開講科目		
		○ 自然地理 B(2)	☐					
		○ 自然地理学基礎演習 (2)	☐					
		○ 地理学巡検Ⅰ (1)	☐					
		○ 地理学巡検Ⅱ (1)	☐					
地誌		● 地誌 A	☐	2				
		● 地誌 B	☐					
		○ 地理歴史科教育法 (2)	☐					
		○ 中等社会・地理歴史科授業構成論(2)	☐					
		○ 社会科学教育法 (2)	☐					
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		社会科学授業論 (2)	☐	4				
		社会科学教育法 (2)	☐					
		社会科学授業論 (2)	☐					
		社会科学教育法 (2)	☐					
		社会科学授業論 (2)	☐					
合 計				24				
2. 教育の基礎的理解に関する科目				○ 教育原理 (2)	☐	10		
				○ 教職入門 問 (2)	☐			
				○ 教育の社会制度論 (2)	☐			
				○ 発達心理学 (2)	☐			
				○ 特別な教育的ニーズの理解とその支援(1)	☐			
3. 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目				○ 教育課程論 (2)	☐	8		
				道徳の歴史と方法 (2)	☐			
				○ 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法(2)	☐			
				○ 教育方法・情報通信技術活用論(2)	☐			
				○ 生徒指導・進路指導の理論と方法(2)	☐			
4. 教育実践に関する科目				○ 教育相談の理論と方法 (2)	☐	5		
				○ 教育実習Ⅰ (2)	☐			
				○ 教育実習Ⅱ (2)	☐			
				○ 事前・事後指導 (1)	☐			
				○ 教職実践演習 (2)	☐			
5. 大学が独自に設定する科目					☐			1～4の科目の最低修得単位数を超えて修得した単位を充てることができる。
					☐			
					☐			
					☐			
					☐			
教養教育	他	○ 法と社会 B (2)	☐			1科目選択必修		
		○ 運動と健康 B (2)	☐					
		○ English Communication A・B (2)	☐					
		○ データサイエンス基礎 (2)	☐					
			☐					

注1 科目名などの後ろにある()内数字は単位数である。

注2 「○」を付している科目は必修科目とする。

注3 「●」を付している科目は選択必修とする。

注1 科目名などの後ろにある()内数字は単位数である。
注2 「○」を付している科目は必修科目とする。
注3 「●」を付している科目は選択必修とする。

最終チェック(以下のチェック項目を全て満たすことにより、卒業時に教員免許状が授与されます。)

- ☐ 全ての必修・選択必修を修得。
- ☐ 1.「教科及び教科の指導法に関する科目」を24単位以上修得。
- ☐ 2.「教育の基礎的理解に関する科目」を10単位以上修得。
- ☐ 3.「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」を8単位以上修得。
- ☐ 4.「教育実践に関する科目」を5単位以上修得。
- ☐ 5.「大学が独自に設定する科目」を12単位以上修得。
- ☐ 教養科目より「法と社会B」2単位、「運動と健康B」2単位、「English Communication」2単位、「データサイエンス基礎」2単位を修得。
- ☐ 1～5の修得単位数の合計が**59単位以上**である。

確認欄

3年前期	3年後期	4年前期	4年後期

社会経営課程

授業科目		履修単 位数	修得単 位計	備考
1. 教科及び教科の指導法に関する科目	日本史	☐ 〇 日 本 考 古 学 (2)	6	
		☐ 〇 日 本 財 政 学 (2)		
		☐ 〇 民 俗 と 文 化 (2)		
		☐ 〇 中 国 史 (2)		
	外国史	☐ 〇 ユーラシア史 (2)	8	
		☐ 〇 西洋考古学 (2)		
		☐ 〇 基礎地理学 A(2)		
		☐ 〇 基礎地理学 B(2)		
	人文地理及び自然地理学	☐ 〇 環境地理学 A(2)	8	自然地理学基礎演習、地理学巡検Ⅰ、地理学巡検Ⅱは教育学部開講科目
		☐ 〇 環境地理学 B(2)		
		☐ 〇 自然地理学基礎演習(2)		
		☐ 〇 地理学巡検Ⅰ(1)		
地誌	☐ 〇 地理学巡検Ⅱ(1)	2		
	● 〇 地域地理学 A			
	● 〇 地域地理学 B			
	☐ 〇 地理歴史科教育法(2)			
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	☐ 〇 中等社会・地理歴史科授業構成論(2)	4		
	☐ 〇 社会科教育法(2)			
	☐ 〇 社会科授業論(2)			
	☐ 〇 社会科授業論(2)			
合 計		24		
2. 教育の基礎的理解に関する科目				
3. 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		☐ 〇 教 育 原 理 (2)	10	
		☐ 〇 教 育 職 入 門 (2)		
		☐ 〇 教育の社会制度論(2)		
		☐ 〇 発 達 心 理 学 (2)		
		☐ 〇 特別な教育的ニーズの理解とその支援(1)	8	
		☐ 〇 教 育 課 程 論 (2)		
		☐ 〇 道徳の歴史と方法(2)		
		☐ 〇 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法(2)		
		☐ 〇 教育方法・情報通信技術活用論(2)		
		☐ 〇 生徒指導・進路指導の理論と方法(2)		
		☐ 〇 教育相談の理論と方法(2)		
		☐ 〇 教育相談の理論と方法(2)		
4. 教育実践に関する科目	☐ 〇 教 育 実 習 Ⅰ (2)	5		
	☐ 〇 教 育 実 習 Ⅱ (2)			
	☐ 〇 事前・事後指導(1)			
	☐ 〇 教 職 実 践 演 習 (2)			
5. 大学が独自に設定する科目				
教 養 教 育				1～4の科目の最低修得単位数を超えて修得した単位を充てることができる。
他	☐ 〇 法 と 社 会 B (2)			1科目選択必修
	☐ 〇 運 動 と 健 康 B (2)			
	☐ 〇 English Communication A・B (2)			
	☐ 〇 データサイエンス基礎 (2)			
注1	科目名などの後にある()内数字は単位数である。			
注2	「○」を付している科目は必修科目とする。			
注3	「●」を付している科目は選択必修とする。			

注1 科目名などの後ろにある()内数字は単位数である。

注2 「○」を付している科目は必修科目とする。

注3 「●」を付している科目は選択必修とする。

最終チェック(以下のチェック項目を全て満たすことにより、卒業時に教員免許状が授与されます。)

- ☐ 全ての必修・選択必修を修得。
- ☐ 1.「教科及び教科の指導法に関する科目」を24単位以上修得。
- ☐ 2.「教育の基礎的理解に関する科目」を10単位以上修得。
- ☐ 3.「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」を8単位以上修得。
- ☐ 4.「教育実践に関する科目」を5単位以上修得。
- ☐ 5.「大学が独自に設定する科目」を12単位以上修得。
- ☐ 教養科目より「法と社会B」2単位、「運動と健康B」2単位、「English Communication」2単位、「データサイエンス基礎」2単位を修得。
- ☐ 1～5の修得単位数の合計が**59単位以上**である。

確 認 欄

3年前期	3年後期	4年前期	4年後期

「教員免許取得チェックシート」(24H以降学生用) 高等学校教諭一種免許状(公民)

教 科 及 び 教 科 の 指 導 法 に 関 する 科 目		授 業 科 目		取得単 位数	修得単 位数	備 考		
		「法律学(国際法を含む。),政治学(国際政治学を含む。)」	○ 公 法 学 ②					
1 . 教 科 及 び 教 科 の 指 導 法 に 関 する 科 目	に 関 する 専 門 的 事 項	○ 私 法 学 ②	☐	6				
	「社会学,経済学(国際経済学を含む。)」	○ 憲 法 学 ②	☐					
		○ 行 政 学 ②	☐					
		○ 民 法 学 ②	☐					
		○ 社 会 学 ②	☐					
2. 教育の基礎的理解に関する科目	○ ミクロ経済学Ⅰ②	☐	6					
	○ マクロ経済学Ⅰ②	☐						
	○ マクロ経済学Ⅱ②	☐						
	○ 社会心理学②	☐						
	○ 思想と文化②	☐						
3. 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	○ 日本倫理思想②	☐	8					
	○ 日 本 倫 理 入 門 ②	☐						
	○ 哲 学 倫 理 入 門 ②	☐						
	● 西 洋 倫 理 思 想 ②	☐						
	● 東 ア ジ ア 思 想 ②	☐						
4. 教育実践に関する科目	○ 日本倫理思想演習Ⅰ②	☐	4					
	○ 日本倫理思想演習Ⅱ②	☐						
	○ 公民科教育法②	☐						
	○ 中等社会・公民科授業構成論	☐						
	○ 社会科教育法②	☐						
5. 大学が独自に設定する科目	○ 社会科授業論②	☐	24					
	合 計							
	○ 教 育 原 理 ②	☐				10		
	○ 教 育 職 入 門 ②	☐						
	○ 教 育 の 社 会 制 度 論 ②	☐						
○ 発 達 心 理 学 ②	☐							
○ 特別な教育的ニーズの理解とその支援①	☐							
6. 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	○ 教 育 課 程 論 ②	☐	8					
	道 徳 の 歴 史 と 方 法 ②	☐						
	○ 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法②	☐						
	○ 教育方法・情報通信技術活用論②	☐						
	○ 生徒指導・進路指導の理論と方法②	☐						
7. 教育実践に関する科目	○ 教育相談の理論と方法②	☐	5					
	○ 教 育 実 習 Ⅰ ②	☐						
	○ 教 育 実 習 Ⅱ ②	☐						
	○ 事前・事後指導①	☐						
	○ 教 職 実 践 演 習 ②	☐						
8. 大学が独自に設定する科目			12					
9. 法と社会B②	○ 法 と 社 会 B ②	☐						
	○ 運 動 と 健 康 B ②	☐						
	○ English Communication A・B ②	☐						
	○ データサイエンス基礎②	☐						
	1科目選択必修							
他								

注1 科目名などの後ろにある()内数字は単位数である。
注2 「○」を付している科目は必修科目とする。
注3 「●」を付している科目は選択必修とする。

最終チェック(以下のチェック項目を全て満たすことにより、卒業時に教員免許状が授与されます。)

☐全ての必修・選択必修を修得。
☐1.「教科及び教科の指導法に関する科目」を24単位以上修得。
☐2.「教育の基礎的理解に関する科目」を10単位以上修得。
☐3.「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」を8単位以上修得。
☐4.「教育実践に関する科目」を5単位以上修得。
☐5.「大学が独自に設定する科目」を12単位以上修得。
☐教養科目より「法と社会B」2単位,「運動と健康B」2単位,「English Communication」2単位,「データサイエンス基礎」2単位を修得。
☐1～5の修得単位数の合計が**59単位以上**である。

確認欄				
3年前期	3年後期	4年前期	4年後期	

授業科目		最低修得単位数	修得単位数計	備考
1. 教科及び教科の指導法に関する科目	○ 経営戦略論(2)	18	☐	
	○ ベンチャービジネス論(2)		☐	
	○ 簿記システムⅠ(2)		☐	
	○ 簿記システムⅡ(2)		☐	
	○ 財務会計Ⅰ(2)		☐	
	○ 財務会計Ⅱ(2)		☐	
	○ 経営管理論(2)		☐	
	○ マーケティング論Ⅰ(2)		☐	
	○ マーケティング論Ⅱ(2)		☐	
	○ グローバル経営論Ⅰ(2)		☐	
	○ グローバル経営論Ⅱ(2)		☐	
	○ 経営組織論(2)		☐	
	○ 企業経営史Ⅰ(2)		☐	
	○ 企業経営史Ⅱ(2)		☐	
	○ 原価計算(2)		☐	
	○ 管理会計(2)		☐	
	○ 税務会計A(2)		☐	
	○ 税務会計B(2)		☐	
	○ 地域データ分析Ⅰ(2)		☐	
	○ 地域データ分析Ⅱ(2)		☐	
職業指導	○ 現代企業論Ⅰ(2)	12	☐	
	○ 現代企業論Ⅱ(2)		☐	
	○ 社会的企業論(2)		☐	
	○ 地域イノベーション論Ⅰ(2)		☐	
	○ 地域イノベーション論Ⅱ(2)		☐	
	○ 職業指導(2)		☐	理工学部と同時開講
	○ 商業科教育法Ⅰ(2)		☐	
	○ 商業科教育法Ⅱ(2)		☐	
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		4	☐	
			☐	
合 計		24		
2. 教育の基礎的理解に関する科目	○ 教育原理(2)	10	☐	
	○ 教職入門(2)		☐	
	○ 教育の社会制度論(2)		☐	
	○ 発達心理学(2)		☐	
	○ 特別な教育的ニーズの理解とその支援(1)		☐	
3. 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	○ 教育課程論(2)	8	☐	
	○ 道徳の歴史と方法(2)		☐	
	○ 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法(2)		☐	
	○ 教育方法・情報通信技術活用論(2)		☐	
	○ 生徒指導・進路指導の理論と方法(2)		☐	
4. 教育実践に関する科目	○ 教育相談の理論と方法(2)	5	☐	
	○ 教育実習Ⅰ(2)		☐	
	○ 教育実習Ⅱ(2)		☐	
	○ 事前・事後指導(1)		☐	
	○ 教職実践演習(2)		☐	
5. 大学が独自に設定する科目		12		

教 養 教 育 他	○ 法 と 社 会 B (2)	☐			
	○ 運動と健康 B (2)	☐			
	○ English Communication A・B (2)	☐			1科目選択必修
	○ データサイエンス基礎 (2)	☐			
注1 科目名などの後ろにある()内数字は単位数である。					
注2 「○」を付している科目は必修科目とする。					
注3 「●」を付している科目は選択必修とする。					
最終チェック(以下のチェック項目を全て満たすことにより、卒業時に教員免許状が授与されます。)					
☐ 全ての必修・選択必修を修得。					
☐ 1.「教科及び教科の指導法に関する科目」を24単位以上修得。					
☐ 2.「教育の基礎的理解に関する科目」を10単位以上修得。					
☐ 3.「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」を8単位以上修得。					
☐ 4.「教育実践に関する科目」を5単位以上修得。					
☐ 5.「大学が独自に設定する科目」を12単位以上修得。					
☐ 教養科目より「法と社会B」2単位、「運動と健康B」2単位、「English Communication」2単位、「データサイエンス基礎」2単位を修得。					
☐ 1～5の修得単位数の合計が 59単位以上 である。					
確認欄					
		3年前期	3年後期	4年前期	4年後期